

令和6年1月1日以降に出生する赤ちゃんが対象

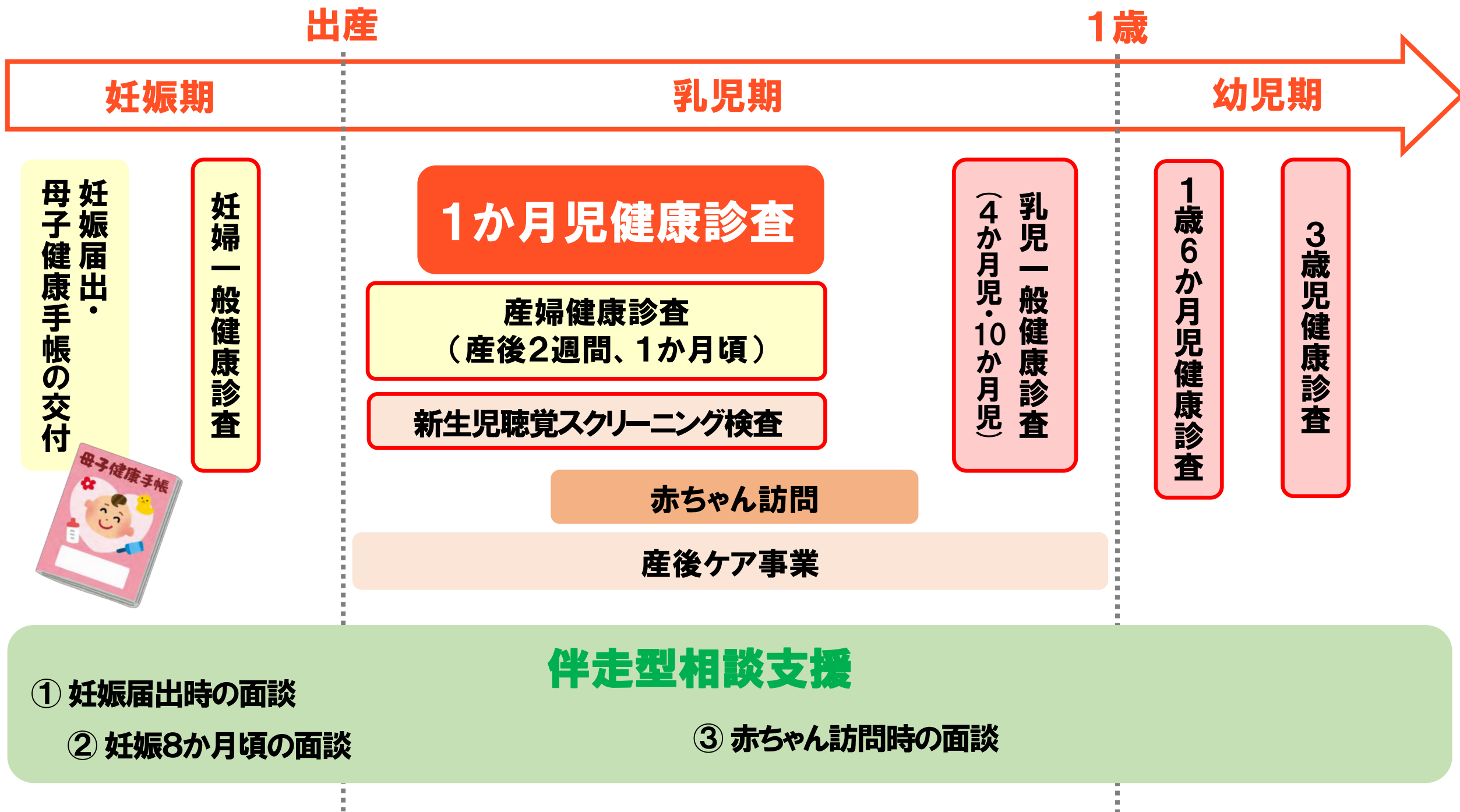
1か月児無料健康診査事業を開始

～こどもの健康を守り、子育て家庭を応援します～



令和5年12月21日

妊娠期から子育て期にわたる支援の充実



事業の概要

目的

出生後1か月を経過した乳児の成長・発達、健康状態について確認する健康診査に係る費用を無料化することで、こどもの健康を守り、子育て家庭における経済的負担を軽減

予算額

109万円

（令和6年1月～3月受診対象者274人）

【内訳】

健診委託料(市内医療機関)	85万円（214人見込み）
助成金(市外医療機関等)	24万円（60人見込み）

対象者と受診費用

対 象 者

受診時点で市内に住所を有する
令和6年1月1日以降に生まれた乳児

受診時期

おおむね生後1か月

受診費用

無 料

- * 里帰り等により市外・県外で受診した場合は、4,000円を上限として費用を助成
- * 生後2か月未満までに受けた健康診査が対象
(特別な事情で受診が生後2か月を過ぎる場合は、保健センターへご相談ください。)

対象の方(保護者)へのお知らせ

○令和6年1月1日以降に妊娠届を出される方

母子健康手帳交付時に、「1か月児健康診査受診票兼結果票」をお渡し

○妊娠8か月以降の妊婦

妊娠8か月の伴走型相談支援のアンケートを郵送する時に、
「1か月児健康診査受診票兼結果票」を同封して送付

令和6年1月～2月に出産予定(妊娠9か月以降)の方には、
「1か月児健康診査受診票兼結果票」を郵送

○令和6年1月1日以降に出産された方

出生届の提出時に案内チラシを配付

県内の医療機関等に、「1か月児健康診査受診票兼結果票」をあらかじめ
送付するため、受診する医療機関等での受け取りも可能

広報津・市ホームページ等でもお知らせ

健康診査の受け方

1

出産した産科の医療機関で1か月児健康診査を予約

＊産婦健康診査の2回目（1か月頃）と同時に受診可能

＊小児科でも受診可能

2

「1か月児健康診査受診票兼結果票」に
必要事項を記入し、医療機関へ提出、
健康診査を受診

市内の医療機関で受診の場合は、窓口無料

【1か月児健康診査受診票兼結果票】

津市 1か月児健康診査受診票兼結果票

※太線内すべての項目をボールペンでしっかり書いてください。

受診日	令和 年 月 日	*妊娠37週未満の場合	
フリガナ	修正月齢 か月 (日)		
乳児氏名	月 満 月 日	性別	男・女 第 () 子
生年月日	令和 年 月 日	性別	男・女 第 () 子
出生体重	g	在胎週数	週 日
母体の異常	なし ()	分娩時の様式	経膈分娩・帝王切開 其他 ()
保護者名			
電話			
住所	住民票登録地		
授乳の様子	1.よく飲む 2.むらがある 3.その他 ()	排便	1.毎日 () 回 2. () 日に () 回
栄養	母乳: 回/日 ミルク: 1回 cc 回数 回	吐乳	1.ほとんど吐かない 2.少し吐く(1日 回) 3.多量に吐く(1日 回)
心配なこと	1. なし 2. あり 内容 ()		

体重	g	身長	cm
頭囲	cm	栄養状態	良 ・ 要指導
発達	運動姿勢異常 無 ・ 有 () モロー反射 有 ・ 無 () 手掌把握反射 有 ・ 無 () 非対称性緊張性頸反射 有 ・ 無 ()		
特記事項			
総合判定	1. 異常なし 2. 既医療 3. 要経過観察 4. 要紹介(要精密) 5. 要紹介(要治療) 内容 ()		

上記のとおり、健康診査結果を報告します。

令和 年 月 日

委託医療機関名
担当医師名

健康診査の内容とその後の流れ

内 容

問診、診察、身体計測、育児相談

- 受診後、医師より健康診査に係る総合的な判定結果と次回の健康診査等を案内
- 医療機関等は、判定結果から必要に応じて治療や経過観察を実施
- 支援が必要な母子については、継続した支援のため保健センターへ連絡
- 保健センターの保健師及び助産師が、赤ちゃん訪問等の機会に保護者へ相談等の対応

里帰りなどで市外・県外で受診する場合

市外・県外の医療機関で受診

医療機関が本市の費用助成を
取り扱う場合

受診費用が4,000円
までの場合は、
窓口無料

受診費用が4,000円
を超える場合は、
4,000円を差し引いた
額を窓口で支払い

医療機関が本市の費用助成を
取り扱わない場合

受診費用を一旦、医療機関の窓口で支払い

後日、保健センターへ領収書と結果票等を
持参し費用助成の手続き

受診費用が4,000円
までの場合は、
かかった費用全額を
助成

受診費用が4,000円
を超える場合は、
4,000円を助成

問い合わせ



健康福祉部健康づくり課

TEL : 059-229-3310

FAX : 059-229-3346

〒514-8611 津市西丸之内23番1号

津市長が選ぶ 令和5年市政の10大ニュース



令和5年12月21日

津市長が選ぶ令和5年市政の10大ニュース一覧

1 香良洲高台防災公園の管理棟と屋内運動施設を一時避難場所として暫定利用開始

2 Park-PFI制度を活用して中勢グリーンパークに新エリア(芝そりゲレンデ、ドッグラン、バーベキュー場等)がオープン

3 市内16箇所に浸水センサを設置

4 市内全ての保育所等で使用済み紙おむつ回収処分を開始

5 合併後初めて57人の待機児童が発生
保育士・幼稚園教諭等就労開始応援事業の創設を決定

6 急遽閉園となった旧美里さつき保育園の園児を白山こども園等で保育継続

7 地域脱炭素推進プラットフォームを設置
さらなる推進に向けて4者と協定締結

8 大門・丸之内地区未来ビジョンが策定される

9 県内初となるM.O.A.(Move Over Ambulance:機動的救急隊)の運用を開始

10 津市をロケ地にした映画やゆかりのドラマによるシティプロモーションを展開

1

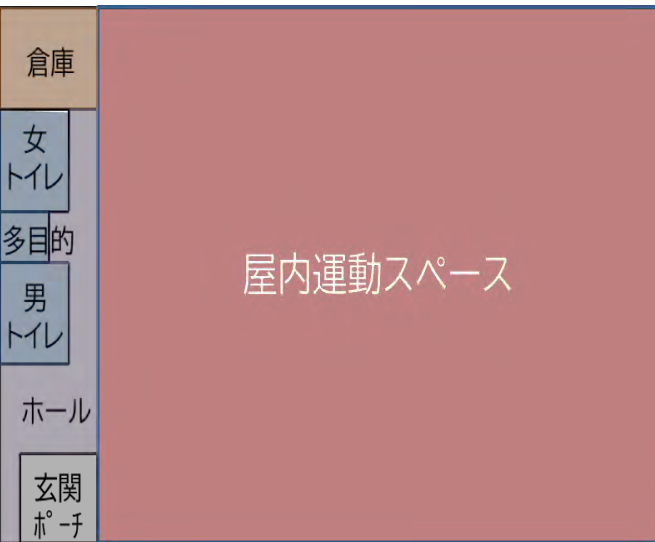
香良洲高台防災公園の管理棟と屋内運動施設を 一時避難場所として暫定利用開始

3月24日、**管理棟・屋内運動施設が完成**
地震・津波発生時の一時避難場所として暫定利用を開始

屋内運動施設

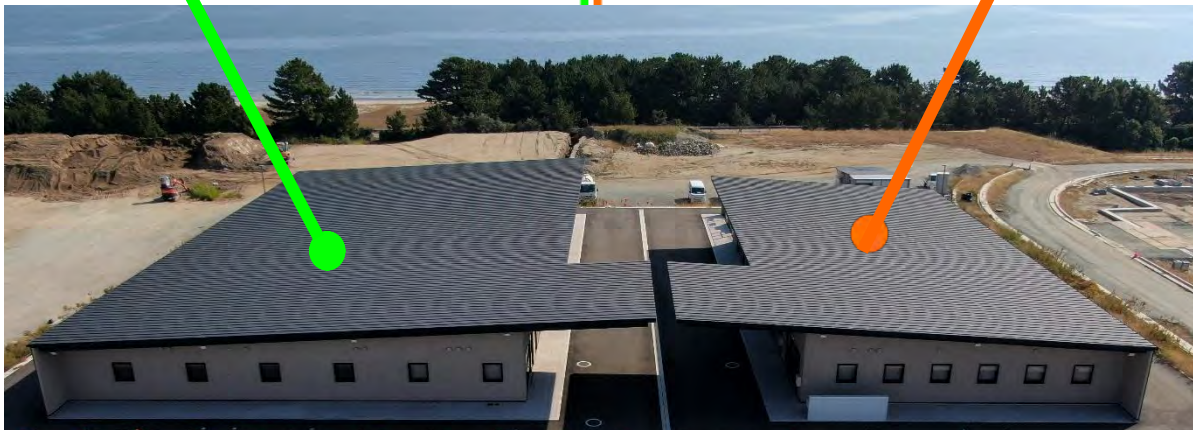
- ◆建築面積: 1,137㎡
- ◆避難可能面積: 850㎡

避難スペース



最大収容人数 850人

香良洲高台防災公園全景

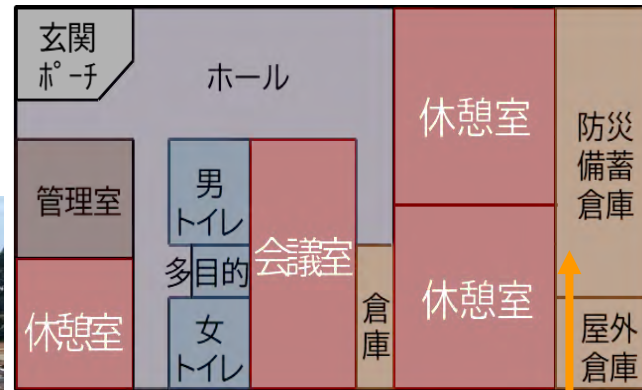


駐車場暫定100台、停電時は自家用発電で72時間発電

管理棟

- ◆建築面積: 657㎡
- ◆避難可能面積: 227㎡

避難スペース



飲料水、簡易トイレ、非常用食品、
エアータントなどを配備

最大収容人数 227人

2

Park-PFI制度を活用して中勢グリーンパークに新エリア (芝そりゲレンデ、ドッグラン、バーベキュー場等)がオープン

4月1日、Park-PFI制度を活用した官民連携事業により整備した 中勢グリーンパークの新エリアがオープン

カフェ「つハッチ」



芝そりゲレンデ



ドッグラン



イベントスペース



パークセンター



バーベキュー場



事業費

1億5,300万円

来園者数(新エリアオープン以降)

約121,000人(R5.11月末現在)

3 市内16箇所に浸水センサを設置

8月8日、日本初となる自動販売機搭載型浸水センサを市本庁舎敷地内に設置

国のワンコイン浸水センサ実証実験として、中央大学研究開発機構、大塚ウエルネスベンディング株式会社、一般財団法人河川情報センターにより設置

概要

親機1基(自動販売機本体)、親機と無線通信する子機3基を設置。平常時は自動販売機として利用されるが、浸水発生時には設置した浸水センサで浸水状況を把握



子機



親機

日本初 自動販売機搭載型浸水センサを三重県津市役所に設置



8月30日、雲出川中流部におけるワンコイン浸水センサを設置

概要

市内14箇所(久居元町、須ヶ瀬町、一志町其村、一志町日置、一志町八太、一志町高野)の道路脇の転落防止柵やカーブミラーなどの支柱に道路冠水や水路からの溢水を把握するための浸水センサ(15基)を設置



10月11日、一身田出張所に自動販売機搭載型浸水センサを設置

概要

浸水センサ3基を搭載した自動販売機を設置



4

市内全ての保育所等で 使用済み紙おむつ回収処分を開始

7月から使用済み紙おむつの持ち帰りルールを見直し、
市内全ての保育所等で回収・処分する仕組みを構築

「紙おむつを持ち帰る保護者の負担軽減」+「児童ごとに紙おむつを仕分ける保育士等の負担軽減」

県内初

回収処分補助(市独自事業)

私立の保育所及び認定こども園等に
0～2歳児の入所児童1人につき
月額250円を補助

保育所 19施設
認定こども園 17施設
小規模保育事業所 1施設

交付決定額
(R5.11月末現在) **352万4千円**



回収ボックス等設置補助

回収ボックス等が必要な私立の保育所及び認
定こども園に回収ボックスの購入実費額(上
限17万円)を補助

保育所 18施設
認定こども園 13施設

交付決定額
(R5.11月末現在) **477万3千円**



私立

公立

公立の全25施設で使用済み紙おむつの回収処分を開始し、
9月末までに全ての施設への回収ボックスの設置を完了

事業費 **186万9千円**

5

合併後初めて57人の待機児童が発生 保育士・幼稚園教諭等就労開始応援事業の創設を決定

令和5年4月1日、合併後初めて**57人**の待機児童が発生。私立保育所等の人材を確保するため保育士・幼稚園教諭等の就労に20万円を支給する事業を創設

平成18年度以降令和4年度までに、廃止・休園などによる減489人分を差し引いて計1,572人分増の保育定員を確保してきたものの、保育士の待遇や保育現場の環境、地域間での人材の取りあいなどにより、**私立保育所等において保育士が不足するという新たな事態**へ

保育人材を確保するための施策を検討するなか、令和5年4月1日入所において1歳児の待機児童が発生

私立保育所等の人材確保のため**保育士・幼稚園教諭等就労開始応援事業**を創設



令和6年以降の4月1日付けで私立保育所等に就職した保育士・幼稚園教諭等に準備金を支給



就職準備金の受給者で2年目の就労を開始した保育士・幼稚園教諭等に支援金を支給

6

急遽閉園となった旧美里さつき保育園の園児を 白山こども園等で保育継続

緊急の対応策として、旧美里さつき保育園に在園していた園児を
白山こども園で一括受入れを行うこととし、保育を継続

6月26日、社会福祉法人ライトから6月30日をもって旧美里さつき保育園を閉園する旨の申出

認可権者である三重県に報告するとともに、法人の所管庁である愛知県に情報共有

旧美里さつき保育園に在園している園児58人を白山こども園で7月3日から新たな受入れ先が確保される
まで一括で受け入れることとし、結果57人の園児が白山こども園へ、預り保育を延長して1人がみさと幼稚園へ

園児の保育環境の変化を緩和するため、1～5歳児については、旧美里さつき保育園の園児のみのクラスを
白山こども園で編成し、同保育園の保育士を会計年度任用職員として任用

保護者の負担軽減を図るため、市美里庁舎から白山こども園までの送迎バスを運行

保護者に対し利用希望施設の意向確認を行い、市内の私立保育所等に対し園児の受入れに係る協力を要請

受入れ状況
(R5.12.1現在)

白山こども園 34人、ひとみね保育園 9人、その他公立保育所・認定こども園 6人、
私立保育所・認定こども園 7人、みさと幼稚園 1人

※1人は家庭での保育が可能となったため退園

地域脱炭素推進プラットフォームを設置 さらなる推進に向けて4者と協定締結

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、
3月3日に「**津市地域脱炭素推進プラットフォーム**」を設置
続々と**パートナーシップ協定**を締結

津市地域脱炭素推進プラットフォーム

脱炭素の実現のため、価値観を同じくする主体(個人・団体・企業等)が集い、情報交換と共創を可能にする空間で、脱炭素の取組を見える化して共有し、多様な主体が集う機会を創出

5月13日	「津市地域脱炭素推進プラットフォーム開設記念キックオフイベント ～ローカルイノベーションでつなぐ地域の未来～」を開催
9月26日	「令和5年度第1回2050カーボンニュートラルミーティング」を開催



パートナーシップ協定

令和4年度	4協定・8者	令和5年度	4協定・4者	中勢森林組合、大塚製薬株式会社、三重トヨペット株式会社、株式会社ジモティーと締結	※令和5年11月末現在
-------	--------	-------	--------	--	-------------

エリアプラットフォームが大門・丸之内地区未来ビジョンを策定 目標の達成に向け、リーディングプロジェクトを展開

令和3年度

現況調査・分析及び課題整理・方向性の検討

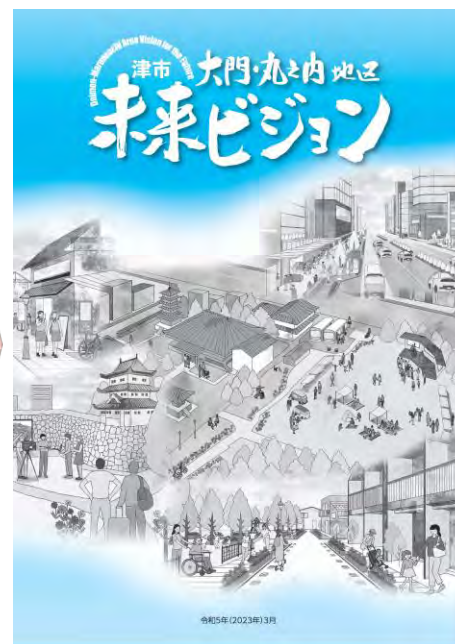
令和4年
4月27日

津市大門・丸之内地区未来ビジョン
策定委員会の設置

令和5年
3月20日

エリアプラットフォーム「大門・丸之内
未来のまちづくり」の設立

津市大門・丸之内地区未来ビジョンを
策定



目標1 人が集い、交流、活動できるまち

目標2 楽しく歩いて回遊できるまち

目標3 エリア価値の高いまち

目標4 魅力情報が発信されるまち

目標5 持続可能なまち

令和5年度からエリアプラットフォームが
主体となった未来ビジョンに基づく取組等を展開

津市の役割

エリアの価値を高めるまちの実現に向けて
地域に入り、対話しながら、地権者等に土地・建物の
利活用についての将来的な意向等を伺う



商店街道路空間の活用実験の様子
(10月25日～31日・丸之内)



地域の方に意向等を伺う様子

9

県内初となるM.O.A.(Move Over Ambulance: 機動的救急隊)の運用を開始

増加する救急出動件数 | 救急要請は日中が半数以上 | 救急搬送の約63%が65歳以上

救急空白地域の発生を防ぐため救急隊を増隊
8月から試験運用開始

12月1日からMove Over Ambulance(M.O.A.)運用開始

特徴	市内全域に出動	デイトタイムに運用	多様な働き方への対応
	機動的に展開できる久居消防署へ配置	日中の時間帯(8時30分～17時15分)に運用	育児等により24時間勤務が困難な救急救命士も救急現場に！ 定年引上げ職員を配置することにより豊富な経験・技術を現場力へ！

期待される効果

- 救急現場へ到着する時間の短縮
- 救急隊の増隊と効果的な職員配置による救急体制の維持向上



10

津市をロケ地にした映画やゆかりのドラマによる シティプロモーションを展開

映画「わたしの幸せな結婚」 ～3月17日公開～

三重県、桑名市、各フィルムコミッション、地元企業等と連携し、映画とタイアップした広域プロモーションを展開

- タイアップポスターの作成(三重県・桑名市・専修寺・六華苑)
- ロケ地マップの作成(三重県・桑名市・専修寺・六華苑)
- 映画「わたしの幸せな結婚」展の開催(イオンモール津南等)
- バス車内広告事業の展開(三重交通)
- ノベルティの作成(専修寺) など



専修寺でのロケ地ツアーの様子



映画「わたしの幸せな結婚」展
(イオンモール津南)の様子

映画「レジェンド&バタフライ」 ～1月27日公開～

映画公開を記念し、専修寺庭園(雲幽園・安楽庵)が特別無料公開(2月10日～12日)

白山高校野球部がきっかけ TBSテレビ日曜劇場「下剋上球児」 ～10月15日スタート～

「下剋上球児」パネル展in白山

【日程】10月14日～22日

【場所】白山総合文化センター
まちのギャラリー

《タイアップ企画》

白山高校地域応援団による
「下剋上球児」書籍販売&著者サイン会を開催



「下剋上球児」パネル展in栄

【日程】10月24日～29日

【場所】栄地下街南二番街「まちのたね」